

竹ノ塚駅東口 駅前広場整備検討の意見交換

1 竹ノ塚駅周辺地区のまちづくり

2 東口駅前広場の課題

3 今後の予定

令和7年12月19日
12月20日

足立区都市建設部
まちづくり課

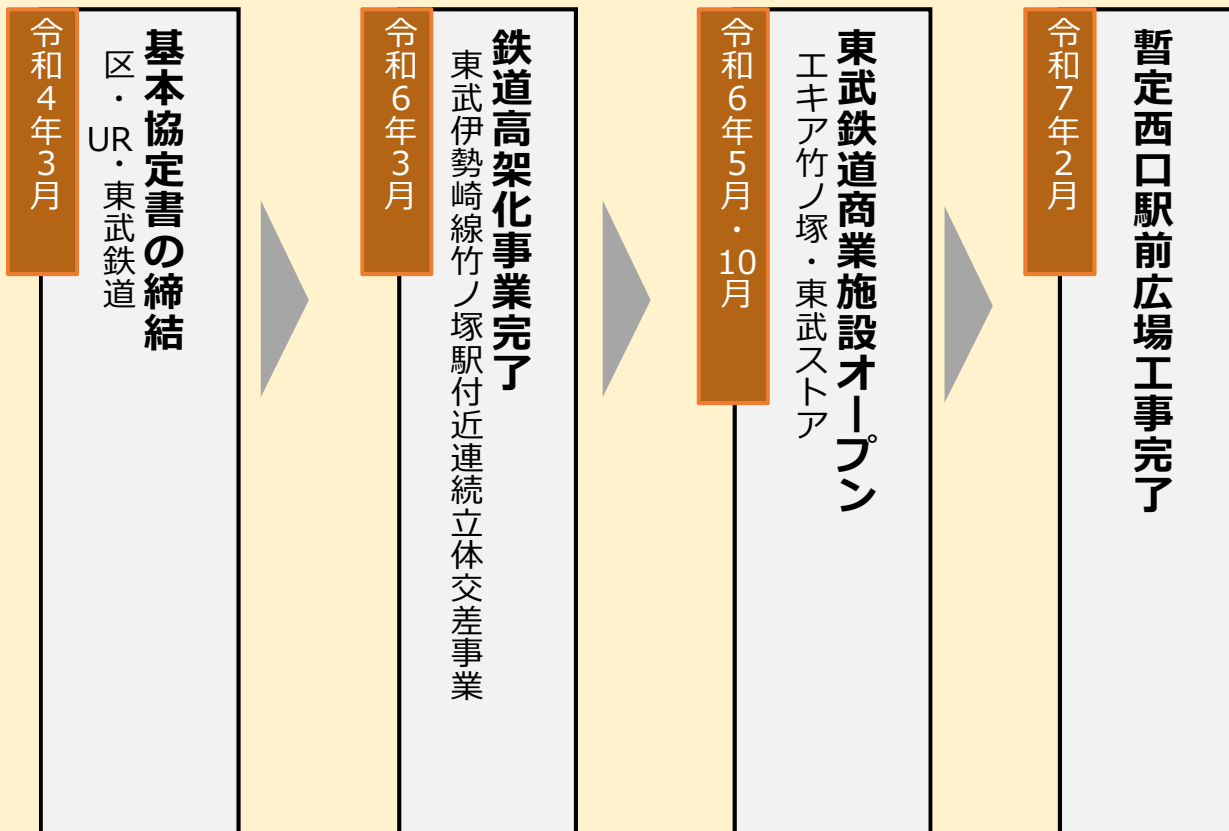
本日は、竹ノ塚駅東口駅前広場整備の現在の検討状況をご説明し、ご意見を伺いたいと考えています。

説明内容は、

- 1 竹ノ塚駅周辺地区のまちづくり
- 2 東口駅前広場の課題
- 3 今後の予定

以上の3点です。

1 竹ノ塚駅周辺地区のまちづくり



2

まず1点目の竹ノ塚駅周辺地区のまちづくりについてです。

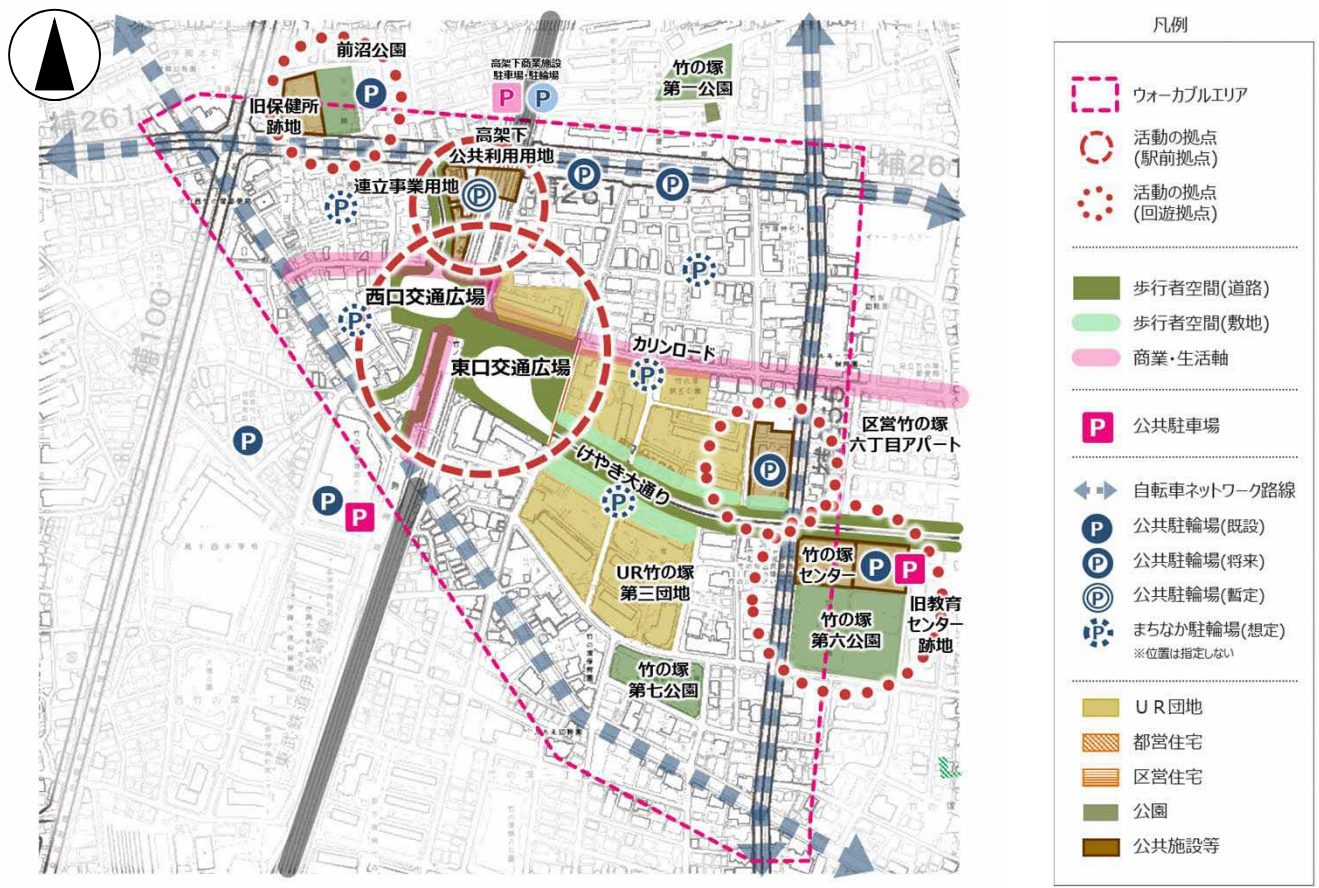
令和4年3月に足立区、UR都市再生機構、東武鉄道株式会社の三者で、鉄道高架化を契機とした駅東西一体のまちづくりを推進していくため、まちづくりに関する基本協定を締結しました。

その後、令和6年3月に鉄道高架化事業が完了し、同年5月に高架下商業施設エキア竹ノ塚が、10月に東武ストアがオープンしました。

そして、令和7年2月に暫定西口駅前広場の工事が完了しました。

現在足立区では、東口駅前広場を整備するための検討を進めています。

1 竹ノ塚駅周辺地区まちづくり



こちらは、令和7年5月に策定した「竹の塚エリアデザインまちづくりの基本的な考え方2」に記載している図面です。

竹ノ塚駅周辺地区は「竹ノ塚駅の東西一体、人が主役のまちづくり」をコンセプトに、竹の塚に住み続けたいと思う人や人に勧めたいなどプラスイメージを持つ人を増やすため、地域に根差した場づくりや活動づくりを進めています。

また、ピンク色の点線で囲っている範囲をウォークブルエリアと位置づけ、快適な歩行空間の実現を目指しています。

1 竹ノ塚駅周辺地区のまちづくり

人が主役のまちづくり

竹の塚に住み暮らす人、働く人、訪れた人の活動によってつくられる広場。心地よく歩きたくなる広場、くつろぐことができる広場、人々が集まり、活動が生まれる「駅前空間」を目指します。



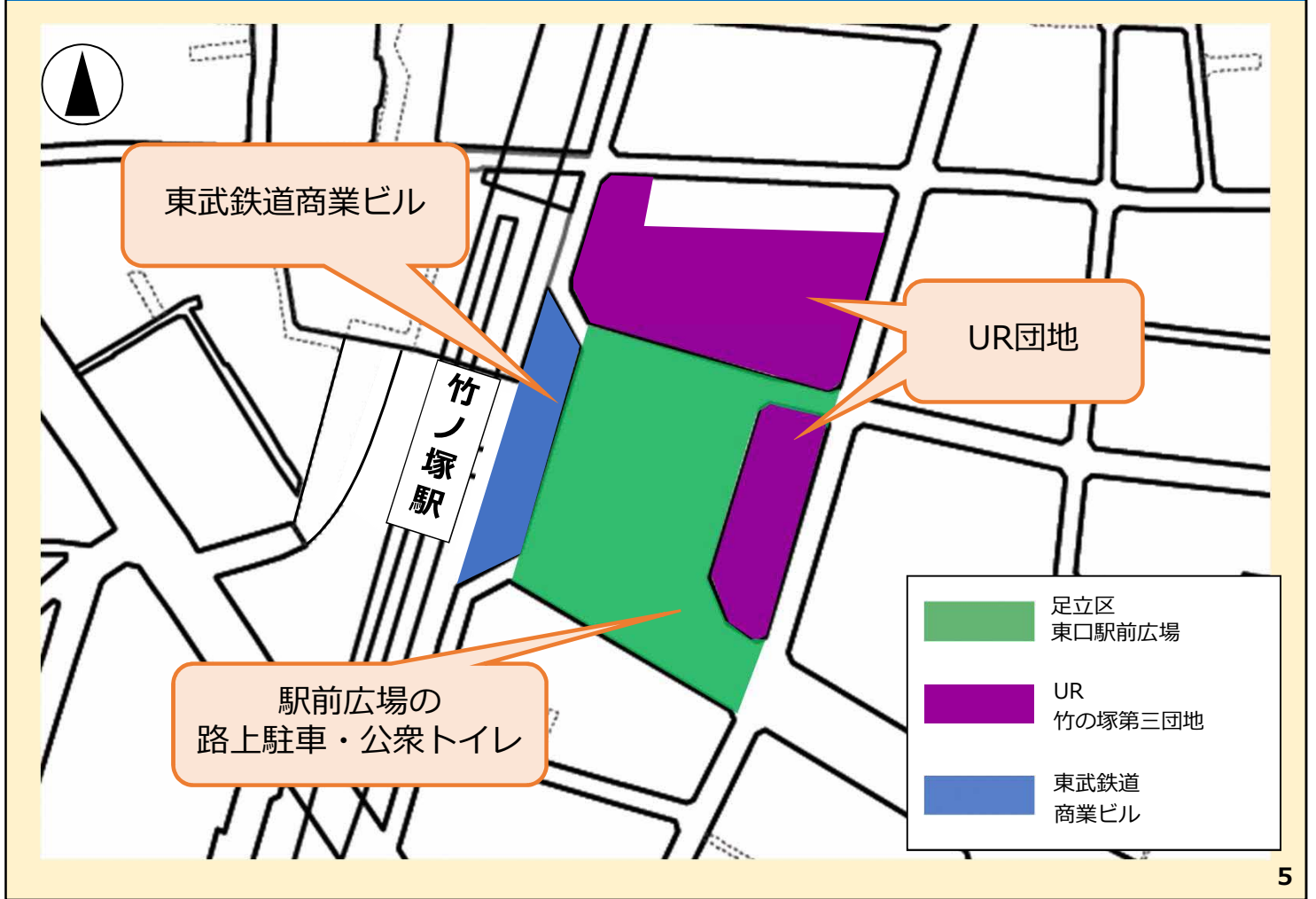
※これらはイメージパースであり、協議が必要な内容も含まれるため実際の整備内容とは異なります

こちらは東口駅前広場整備後のイメージ図になります。

駅周辺においては、北の玄関口にふさわしいまちの顔となるよう人の活動の場や居場所となる空間の創出を検討していきます。さらに、この後ご説明しますが、駅周辺の自転車の走行環境を整備し、歩行者と自転車が共存できる環境づくりの検討をしていきます。

また、駅東西をつなぐにぎわい空間やみどりの空間を形成し、駅東西が一体となる、駅前拠点形成を目指していきます。

1 竹ノ塚駅周辺地区のまちづくり



現在整備を検討している東口駅前には、バスロータリーや東武鉄道の商業ビル、UR団地等があります。

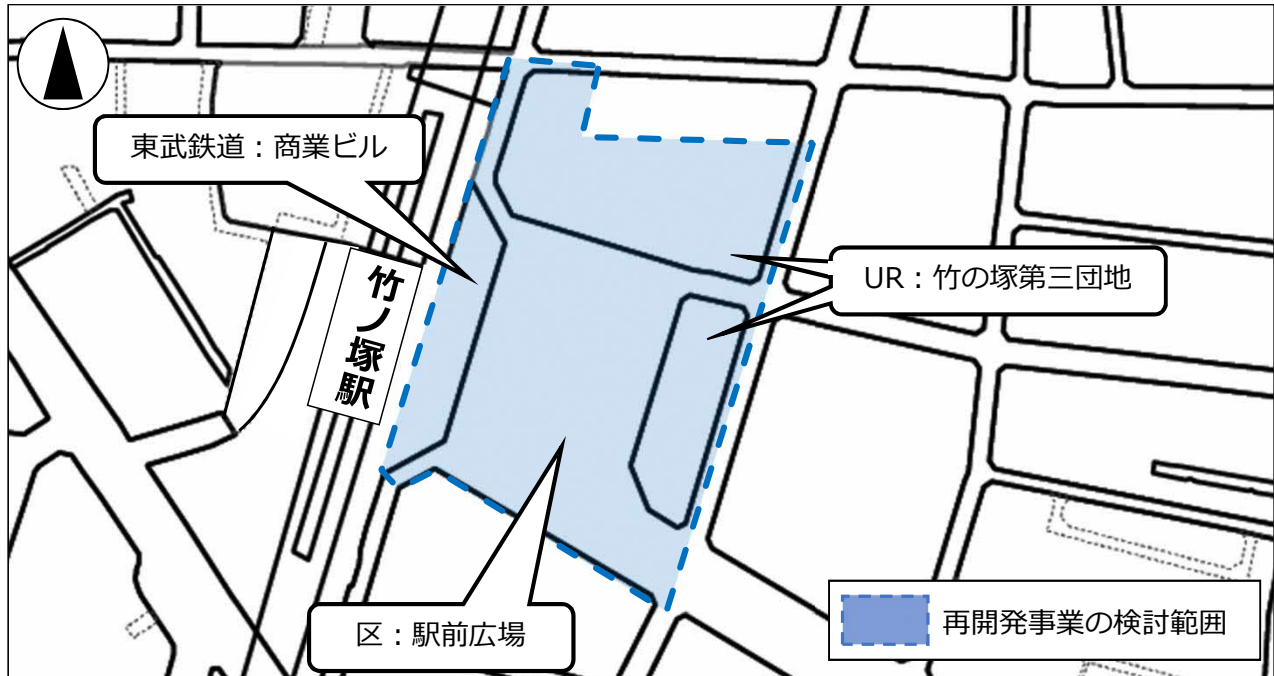
図の緑色が現在の駅前広場になりますが、ここは路上駐車が長く、公衆トイレが地下にあり使い勝手が悪い、などの課題があります。

また、隣接する青色の東武鉄道の商業ビルや紫色のUR竹の塚第三団地は、管理開始から約50年以上経過しています。

1 竹ノ塚駅周辺地区のまちづくり

竹ノ塚駅周辺のまちづくり推進に関する覚書締結（令和7年10月）

まちの顔となる駅前空間を形成するため、市街地再開発事業の導入を検討する。



6

こうした課題を一体的かつ総合的に解決し、まちの顔となる駅前空間を形成するため、令和7年10月に足立区、URおよび東武鉄道の三者による「竹ノ塚駅周辺のまちづくり推進に関する覚書」を締結し、図に青色で示す区域に市街地再開発事業の導入検討を進めることとしました。

再開発事業の検討範囲には、駅前広場、東武鉄道の商業ビル、UR竹の塚第三団地が含まれています。

再開発事業の内容につきましては、今後の進捗に合わせて、改めて皆様にご説明する機会を設けさせていただきます。

2 東口駅前広場の課題



① 都営バスのバス停が駅前広場の外に設置されている



② 路上駐車が多い



③ 違法駐輪や危険な自転車走行が多い



④ 人と車が交差する

7

2点目の東口駅前広場の課題についてご説明させていただきます。

足立区では、現在の駅前広場の主な課題として、以下の4つを考えています。

1つ目は、都営バスのバス停が駅前広場の外に設置されていること

2つ目は、路上駐車が多いこと

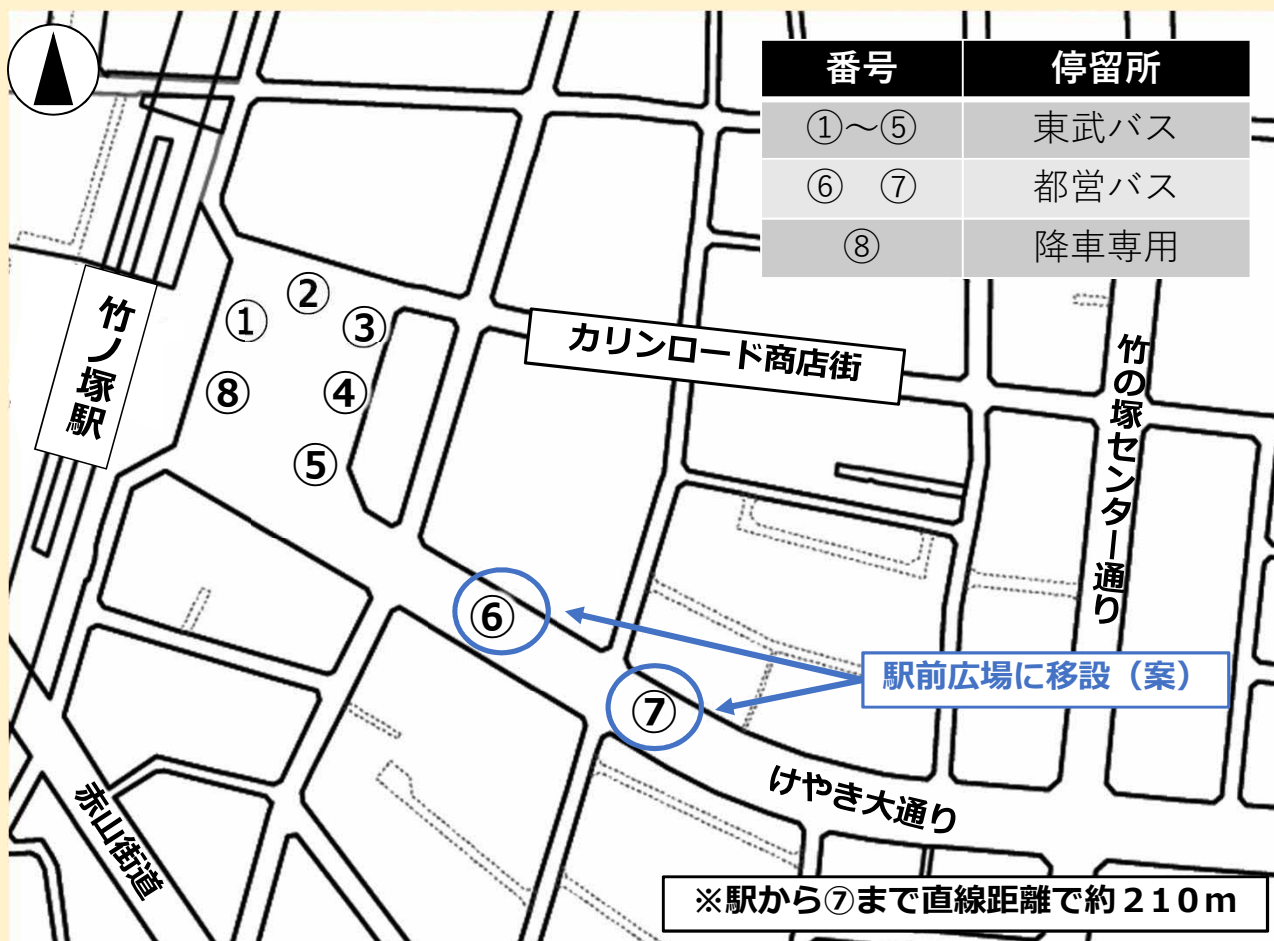
3つ目は、違法駐輪や危険な自転車走行が多いこと

4つ目は、駅前で人と車が交差すること

これらの課題の改善について、次のページから区の考えをご説明します。

7

2-① 都営バスのバス停移設



8

まずは、都営バスのバス停が駅前広場の外に設置されていることについてです。

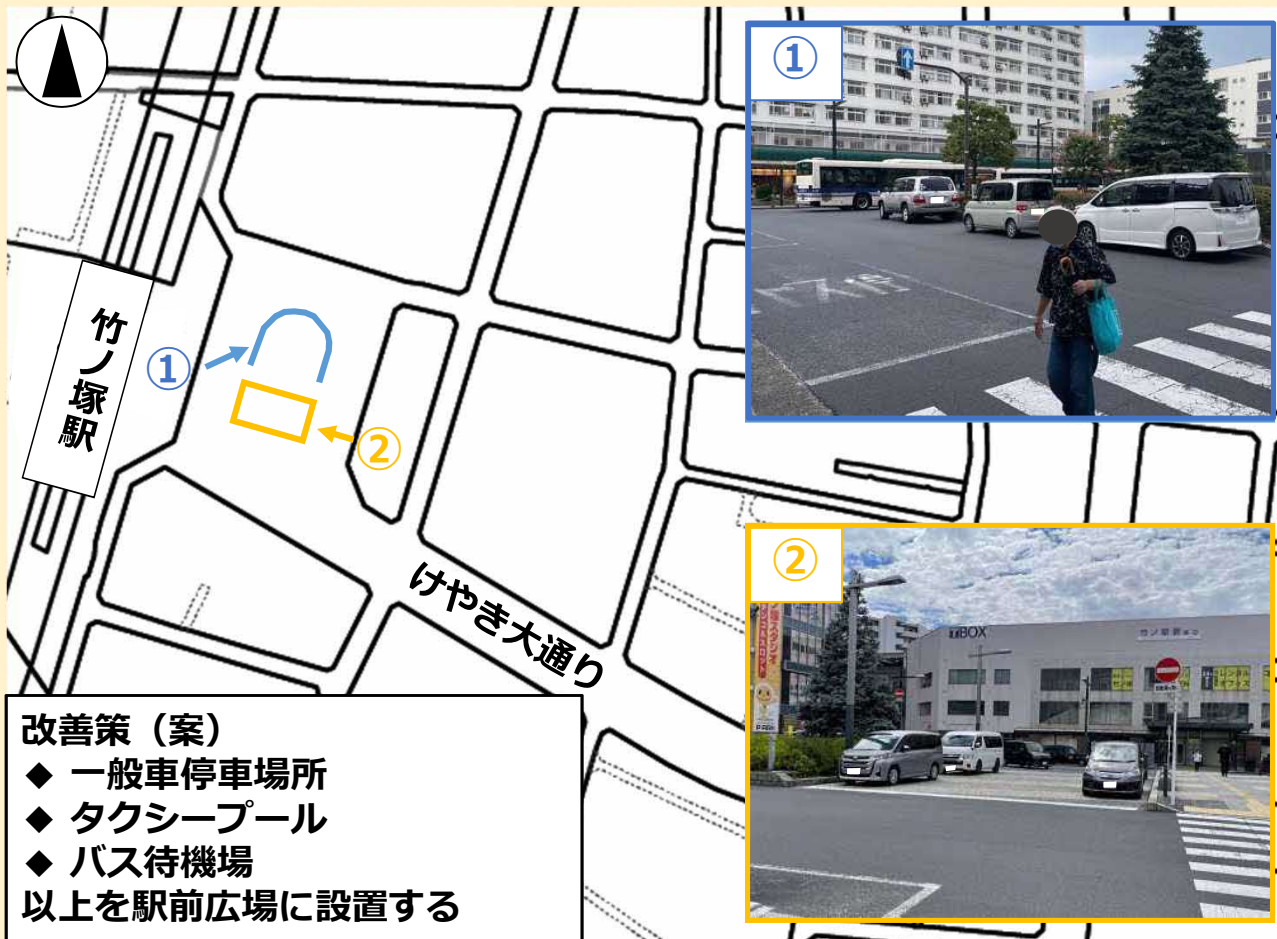
現在東口のバス停留所は、図の番号①から⑤が東武バス、⑥⑦が都営バス、⑧が降車専用となっています。

ご覧のとおり、東武バスに比べて都営バスの停留所は駅から離れたところに設置されています。

駅から最も遠い⑦からは足立清掃工場行きのバスが出ており、1時間に1本程度ですが、⑥は北千住駅行きでピーク時は1時間に9本と本数が多いです。

バスと鉄道の効率的な乗り継ぎが出来るよう、東口駅前広場を整備する時に⑥⑦のバス停を駅前広場内に移設したいと考えています。

2-②路上駐車改善



9

次に路上駐車が多いことについてです。

東口駅前広場には、タクシーや送迎のための一般車が頻繁に停車しています。

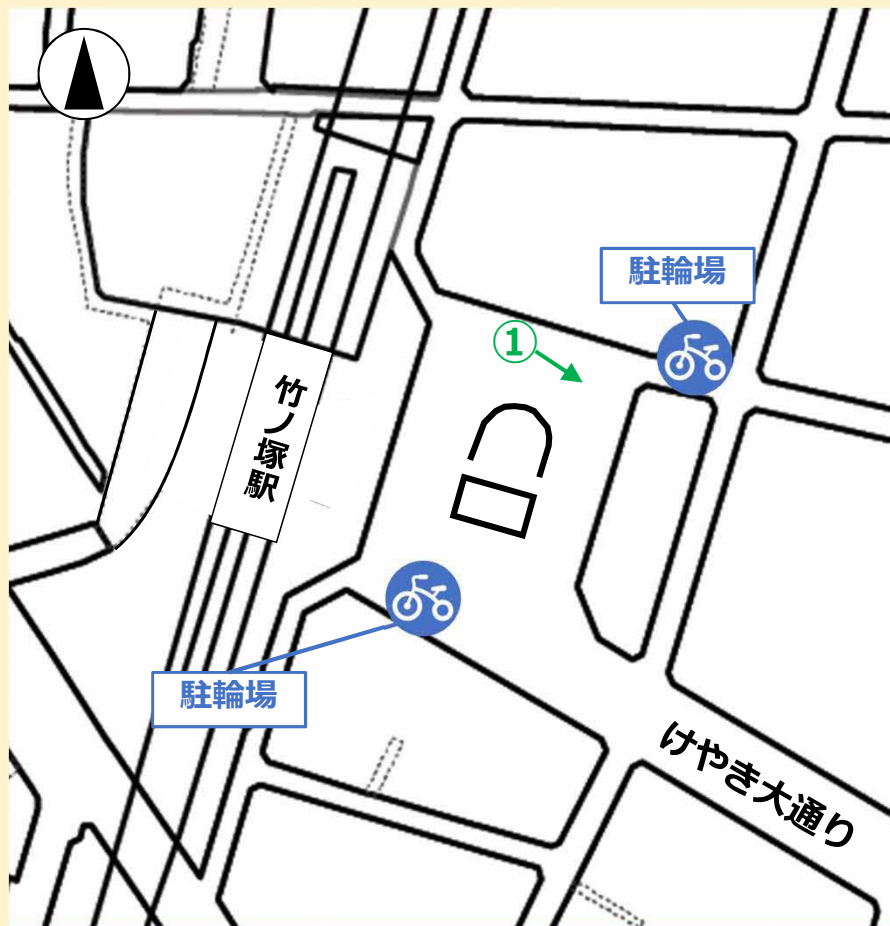
しかし、一般車が停車している場所は、駅前広場の中央にある、いわゆる交通島の脇が多く、そこに車を止めて乗り降りすると道路を横断することとなるため、事故の危険があると考えています。

また、路上駐車が増えると死角が増え、事故のリスクが高くなり、さらに路線バスの走行を妨げる原因にもなります。

そこで、改善策として一般車停車場所、タクシープール、バス待機場を駅前広場に設置することを検討しています。

停車位置や台数については、関係機関と調整しながら進めていきます。

2-③ 違法駐輪の改善



10

次に違法駐輪や危険な自転車走行が多いことについてです。

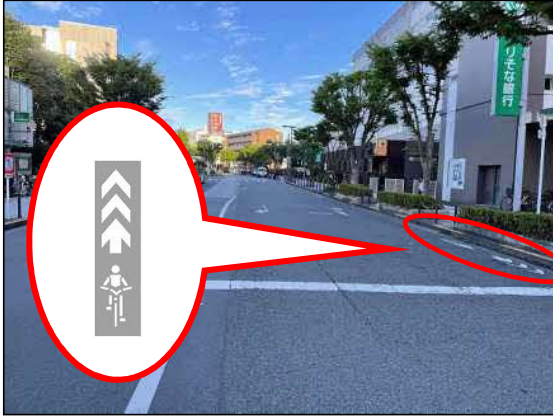
竹ノ塚駅周辺は、自転車放置禁止区域に指定されており、駅前のプランター付近も自転車の駐輪禁止としています。以前は、右上の写真のように自転車が多く止められていました。現在は、右下の写真のようにコーンを設置し、自転車が止められないように対策をしたため、以前と比べると自転車が置かれにくくなっています。

しかし、写真の左側のポストがある付近には、まだまだ自転車が多く止められています。将来の駅前広場では、歩行者の通行空間に自転車を放置されないようにしたいと考えています。

また、現在の駅前広場には2か所の一時利用の駐輪場が設置されていますが、これは駅前広場を整備するときに移設いたします。移設位置については、現在検討中です。

そしてもう一つ、駅周辺の区域は自転車の押し歩きルールの導入を検討していきます。押し歩きとは、自転車が歩道を通行する際、自転車から降りて通行することです。駅前や商店街など、人通りの多い場所において、歩行者と自転車の接触事故防止を目的とし、歩行者の安全性向上を考えています。範囲については現在検討中です。

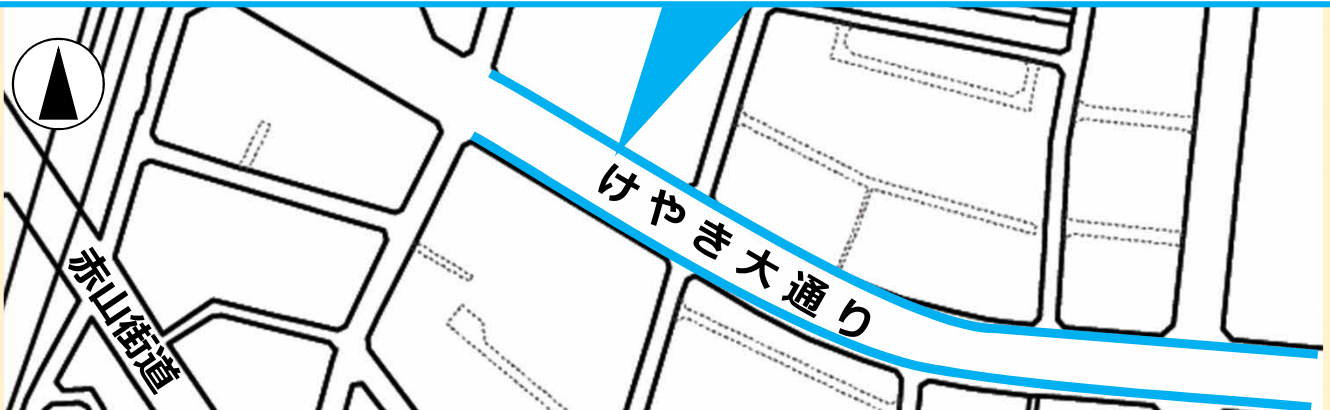
2-③ 自転車走行の改善 ～自転車専用通行帯の設置～



けやき大通り（現在）：ナビマークのみ



東京女子医大通り：自転車専用通行帯



※自転車専用通行帯の設置は現在検討中で、決定したものではありません。

11

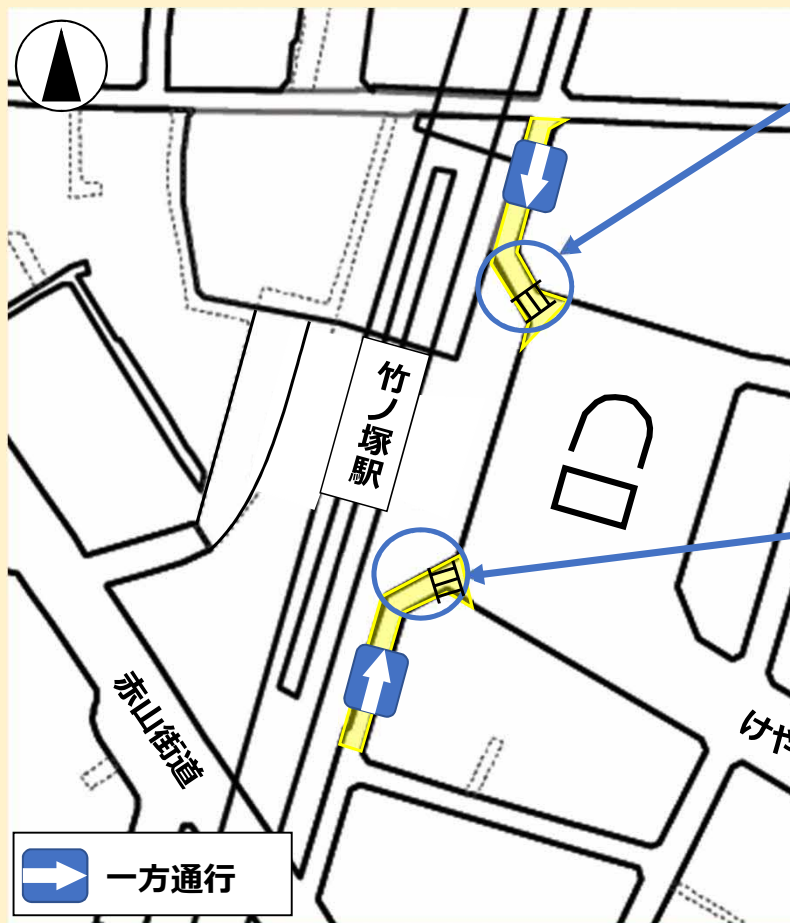
次に自転車走行の改善についてです。

けやき大通りには、図の青線で示すような自転車専用通行帯の設置を検討しています。現在は、左の写真のようにナビマークと呼ばれる自転車の絵が描かれた白線が引かれています。ナビマークは、自転車が通行すべき部分および通行すべき方向を示すものです。

それに対して自転車専用通行帯とは、自転車レーンとも呼ばれ右の写真のように青いラインが引かれたものです。この青い空間は、自転車が通行しなければならない通行帯となっています。

これを整備することで、歩行者と自転車および自動車と自転車が分かれるため、接触事故防止の効果があります。自転車および歩行者の安全性向上のため、駅前広場整備と合わせて設置したいと考えています。

2-④人と車の交差解消



※車の進入を禁止することは現在検討中で、決定したものではありません。 12

次に人と車が交差することについてです。

竹ノ塚駅の東口には、カリンロード商店街やUR団地があり、青い丸で示したところにある横断歩道を渡る方が多いです。

しかしこれらの横断歩道は、黄色で着色した南北道路との交差部になっています。

車を気にすることなく、駅との安全な歩行者動線を確保するため、駅前広場を整備する時に南北方向からの車の進入を禁止する構造にしたいと考えています。車の進入を禁止する位置については、沿道の利用状況を踏まえて検討していきます。

2-④人と車の交差解消



※車の進入を禁止することは現在検討中で、決定したものではありません。 13

続いて、UR団地裏手の道路についてです。

ピンク色で着色したこの道路は、現在北方面への一方通行になっていますが、駅前広場とカリンロード商店街を分断するように車が通行しています。

こちら歩行者の安全確保のため、駅前広場整備に合わせて緑の丸で示したところから、自動車の進入を禁止したいと考えています。

これらは現在検討中の案であり、決定したものではありません。今後も関係機関と協議を行い、実現に向けて慎重に検討していきます。

2-④人と車の交差解消 ～周辺への影響～



14

こちらは、竹ノ塚駅周辺の広域図になります。

前のページでお示した車の進入を禁止したい箇所は、赤色の×部分になります。

車の進入を禁止することとなった場合の周辺の一方通行や時間規制の変更について検討しています。

交通規制の変更には沿道のURや東武鉄道、地元の皆さまのご理解ご協力が必要になります。関係地権者の方々には改めてご相談させていただきたいと思っております。

繰り返しになりますが、車の進入を禁止することについては、まだ決まったものではありません。関係機関と慎重に協議しておりますが、実際に駅前を利用される皆様のご意見をいただきながら検討を進めていきます。

本日、この後の質疑の時間や資料と一緒にお配りした一口メモにて是非お声を聴かせていただければと思います。

3 今後の予定

本日

令和7年12月

竹ノ塚駅東口駅前広場整備検討の意見交換

令和7年12月から

竹ノ塚駅周辺地区地区まちづくり計画
(みちづくりの方針) 検討

令和8年2月頃

竹ノ塚駅周辺地区地区まちづくり計画変更(案)
説明会

令和8年3月頃

竹ノ塚駅周辺地区地区まちづくり計画変更

15

3点目の今後の予定についてご説明します。

本日の説明内容に対して皆様からいただいたご意見を参考に、まちづくりの方針を定める「竹ノ塚駅周辺地区地区まちづくり計画」に示している、歩行者、自転車や自動車の交通ネットワークを定めた「みちづくりの方針」を検討していきます。

その後、地区まちづくり計画の変更案を作成し、令和8年2月頃に住民の皆様へご説明する機会を設け、令和8年3月頃に、地区まちづくり計画を変更する予定です。

その後の予定については、現在は未定ですが、まちづくりの検討が具体的に進む段階で、住民の皆様にご説明し、ご意見をいただく機会を設けながら、竹の塚のまちづくりを進めていきたいと考えています。

■竹ノ塚駅周辺地区のまちづくりについて

都市建設部 まちづくり課 西部地区係（南館4階）

電話：03-3880-5437 FAX：03-3880-5605

E-mail：machi@city.adachi.tokyo.jp

区のHP：竹ノ塚駅周辺地区のまちづくり



ご清聴ありがとうございました

最後のページになります。

こちらに問い合わせ先を記載していますので、ご意見ご質問ございましたら、まちづくり課西部地区係までお願いいたします。

また、12月22日（月）以降に本日お配りした説明会資料を区のHPに掲載いたします。QRコードを読み取るか、もしくはインターネットで「竹ノ塚駅周辺地区のまちづくり」と検索していただければご覧になることができます。

以上で、説明を終わります。

ご清聴ありがとうございました。